

みなさまからいただいたご意見の紹介

K03.コミュニケーション

- ・ コミュニケーションの充実、意見交換の継続、地域の意見の反映などのご意見がありました。

K03-01 「利用者、若者、高齢の方、反対する人や専門家など、コミュニケーションの対象者や方法を充実して欲しい」

【意見例】



本道路が完成した時に利用者となる若い世代や、幅広い職業の参加者の意見を聞けるよう、意見聴取の開催日時を工夫してほしい。

(ワークショップでいただいたご意見)

K03-02 「ワークショップなどの意見交換を継続的に開催して欲しい」

【意見例】



混雑の無い道路や道路環境づくりを、さいたま市や各区、各自治会と連携して、公聴会・意見交換会を開催してほしい。

(埼玉県さいたま市見沼区在住の方からアンケートでいただいたご意見)



計画の具体化に向けて、様々な立場の方からの意見を共有し積み重ねていく必要があるため、ワークショップは継続的に行ってほしい。

(ワークショップでいただいたご意見)

K03-03 「地域の意見をしっかりと取り入れて進めて欲しい」

【意見例】



核都市広域幹線道路の整備に反対する意見にも、しっかりと耳を傾けてほしい。

(埼玉県さいたま市見沼区の方からオープンハウスでいただいたご意見)



見沼三原則はあるものの折角道路を作るのだから、開発すべきところは開発し、残すべきところは残す活用をしてほしい。地主の方々の意見をしっかりと聞いた上で沿線のあり方を考え、特色ある土地活用ができるとよい。

(ワークショップでいただいたご意見)



地域の地理的状況・生活感覚に詳しく、将来のリスクを推測できるため、地元の人の意見を最優先にして進めてほしい。

(埼玉県さいたま市見沼区在住の方からワークショップでいただいたご意見)



核都市広域幹線道路の計画の位置付け・構造案等の情報を住民に丁寧に示し、住民の意見や地域の活性化といった要望を反映してほしい。

(ワークショップでいただいたご意見)